

環境経営レポート 2024

対象期間:2024年1月1日～2024年12月31日

目指せ!
世界に羽ばたく
岡設計

OKA DESIGN CORPORATION



®環境省
エコアクション21
認証番号0009965



岡設計株式会社

発行日:2025年1月31日
改定日:2025年2月26日



目次

1. 組織の概要、対象範囲(認証・登録範囲)・レポートの対象期間及び発行日	1
2. 環境経営方針	2
3. 環境経営目標	3
4. 環境経営計画	4
5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	
(1)環境経営計画に基づき実施した取組内容	5
(2)実施体制	6
6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	
(1)環境経営目標の実績	7
(2)環境経営計画の取組結果とその評価	8
(3)取組事例	9
(4)次年度の環境経営目標及び環境経営計画	10
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	11
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示	12



1. 組織の概要、対象範囲(認証・登録範囲)・レポートの対象期間及び発行日

□組織の概要

事業所名	岡設計株式会社		
代表者氏名	代表取締役 岡 義夫		
会社創立	1983年3月		
資本金	20,000,000円		
所在地	<p>【本社】知立市東上重原四丁目53番地</p> <p>【池端事務所】知立市池端三丁目35番地1 (駐車場) 知立市池端三丁目76番地</p> <p>【鳥居事務所】知立市鳥居一丁目18番5</p>		
			
	【本社】	【池端事務所】	【鳥居事務所】
連絡先	環境管理責任者	岡 祐司	
	担当者	小島 一也	
	電話 / FAX	0566-83-1681 / 0566-83-0868(本社)	
	E-mail	soumubu2@oka-design.co.jp	
	ホームページ	http://www.oka-design.co.jp	
事業の概要	機械の設計・製作・販売業務、正社員技術者の派遣業務		
事業規模	従業員	28名	: 活動対象従業員数(2023年12月22日時点)
		83名	: 派遣社員含む総従業員数(2023年12月22日時点)
	延べ床面積	1673.68m ²	
	事業年度	2024年7月1日～2025年6月30日	

□対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

組織	本社、池端事務所、池端駐車場、鳥居事務所		
活動	機械の設計・製作・販売業務、正社員技術者の派遣業務 (被派遣社員は活動対象外)		
対象期間	2024年1月1日～2024年12月31日		
発行日	2025年1月31日	改訂日	2025年2月26日

2. 環境経営方針

17世紀に始まった産業革命によりスタートした機械文明の発達した世の中において、特に近年では大量生産・大量消費・大量廃棄の社会システムが大きな困難に直面しています。

岡設計株式会社は、経営理念・経営方針を掲げ、技術の確立を目標に日々業務に取り組んでいます。

経営理念

豊かな機械文明の担い手として真摯に努力する社風を以って社会に貢献を続ける会社

経営方針

- 1.自主的社員による自立型企業を目指す。
- 2.地域との係わりを大切にする企業を目指す。
- 3.未来永劫に発展する企業を目指す。

今後も機械設計・製作、労働者派遣の事業活動において、より一層技術者の育成に力を入れ、多様化する顧客ニーズに対応できる企業へ発展し続けます。
未来永劫に持続・発展する企業にすべく、以下の環境保全活動に自主的・積極的に取り組むことを誓約します。

1. 環境関連法規則や当社が約束したその他の環境関連の要求事項を遵守します。

2. 次の事項について具体的な環境経営目標・環境経営計画を定め実施します。

- ① 省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します。
- ② 廃棄物の分別の徹底・リサイクルの推進につとめ廃棄物排出量を削減します。
- ③ 節水につとめ水使用量を削減します。
- ④ 社会貢献活動を積極的に行います。
- ⑤ 新入社員への環境教育と、機械設計部門での環境配慮設計を徹底し、サービスの質的向上を図ります。

3. 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的な改善を進めます。

制定日：2014年2月25日

改定日：2019年3月28日

岡設計株式会社
代表取締役 岡 義夫

3. 環境経営目標

環境経営目標は2021年度(2021年1月～2021年12月)の環境負荷実績を年度基準として目標設定しました。

環境方針	目標達成手段	担当部門	単位	基準 2021年	年度目標		
					2022年度	2023年度	2024年度
①二酸化炭素排出量の削減 ※1	全部署	kg-CO2	41,035	△1% 40,624	△2% 40,214	△3% 39,804	
	電力使用量の削減	全部署	kWh	70,984	△1% 70,274	△2% 69,564	△3% 68,854
	ガソリン使用量の削減	全部署	L	4,634 ※4 [6,045]	△1% 4,588	△2% 4,541	△1% ※4 [5,985]
②廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	全部署	※3	△1%/人 38.8	△2%/人 38.4	△3%/人 38.0	
			(kg)	(1,491)	(1,476)	(1,461)	(1,446)
③水使用量の削減	水道使用量の削減	全部署	※3	△1%/人 6.53	△2%/人 6.47	△3%/人 6.40	
			(m ³)	(251)	(239)	(237)	(234)
④環境配慮設計の促進	環境教育の実施	総務部	回/年	1	1	1	1
	環境配慮設計の実施	第2事業部 第3事業部	回/年	1	1	1	1
⑤社会貢献	清掃活動	全部署	回/週	1	1	1	1
	エコキャップ活動	全部署	回/月	1	1	1	1
活動対象人数 ※2			年間平均人数 [年間総人数]	38.4 [461]	37.0 [444]	37.0 [444]	37.0 [444]

※ グリーン購入は2017年度版ガイドラインの要求事項から削除されたため、環境経営目標から削除。

※1 電力の二酸化炭素調整後排出係数は0.426kg-CO2/kWh(中部電力 2019年度)とする。

LPG、LNGはCO2排出量が全体の約0.1%と少ないため個別目標化はしないが、二酸化炭素排出量には含めている。
(節減の取組みは実施する)

※2 2021年度の人数は年間平均実績人数、2022～2024年度的人数は目標設定時(2022年1月時点)の人数を記載。

※3 廃棄物排出量と節水は活動対象人数の増減と明確に連動するため、年間総量ではなく原単位=1人当たりの量での目標値とした。算出は各項目欄()内の年間総量を活動対象人数欄[]内の年間総人数で除して1ヶ月1人分の数値を算出し、それを12倍して1年間の1人当たりの数値とした。

※4 ガソリン使用量に関しては22年度途中にディーゼル車の追加があったため、軽油を含めた新たな基準として2023年度の実績値を使用し、△1%を目標値とした。

作成日：2022年2月4日

見直し日：2024年2月9日

作成者：岡 祐司

4. 環境経営計画

2023年度(2023年1月～2023年12月)の環境経営計画

環境経営計画項目	内容	日程	担当部門
①二酸化炭素排出量の削減			
□電力使用量の削減	冷暖房管理の徹底(室温：夏28度、冬20度)	毎月	全部署
	不使用のOA機器電源OFF、節電モードの徹底		
	就業時間外、未使用部屋の消灯・空調停止		
	空調機フィルターの3回/年の清掃	4・8・12月	
	空調室外機の4回/年の簡易点検	1・4・7・10月	
□LPG使用量の削減(都市ガス含)	節約の実施	毎月	全部署
□ガソリン使用量の削減	エコドライブの実施	毎月	全部署
	ハイブリッド車の活用		
②廃棄物排出量の削減			
□一般廃棄物の削減	削減取組み(個人ゴミ持ち帰り・詰替え品・紙レス)	毎月	全部署
	分別の徹底		
③水使用量の削減			
□水道使用量の削減	節約の実施	毎月	全部署
	水道管漏水の2回/年の定期点検	2・8月	
④環境配慮設計の促進			
□環境教育の実施	新入社員への環境教育	4月	総務部
□環境配慮設計の実施	環境配慮設計社内規定に基づいた製品設計	4月	第2事業部 第3事業部 設計開発部
⑤社会貢献			
□清掃活動	会社周辺の清掃実施	毎週	全部署
□エコキャップ活動	ペットボトルキャップ回収の実施		

作成日：2024年2月9日

見直し日：-

作成者：岡 祐司

5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

(1)2024年度(2024年1月～2024年12月)の環境経営計画に基づき実施した取組内容

環境経営計画項目	取組内容（詳細）
①二酸化炭素排出量の削減	
□電力使用量の削減	
冷暖房管理の徹底(室温：夏28度、冬20度)	・各拠点にデジタル温度・湿度計を設置し、温度を管理
不使用のOA機器電源OFF、節電モードの徹底	・始業時間前、終業時間後はOA機器の電源をOFF ・昼休憩時、出張時など不使用となるOA機器は節電
就業時間外、未使用部屋の消灯・空調停止	・始業時間前、昼休憩、終業時間後は消灯 ・未使用部屋は空調を停止 (鳥居事務所の三次元測定室は、温度を一定に保つ必要があるため除く) ・本社蛍光灯をLEDへ変更
空調機フィルターの3回/年の清掃	・4月末、8月中旬、12月末に空調機のフィルター清掃を実施
空調室外機の4回/年の簡易点検	・1月、4月、7月、10月に空調室外機の簡易点検を実施
□LPG使用量の削減(都市ガス含)	
節約の実施	・節約ラベルをガス回りに掲示し、節約を呼び掛け
□ガソリン使用量の削減	
エコドライブの実施	・エコドライブラベルを社用車内に掲示し、エコドライブを呼び掛け
ハイブリッド車の活用	・外出頻度の多い担当にハイブリッド車を割り当て
②廃棄物排出量の削減	
□一般廃棄物の削減	
削減取組み(個人ゴミ持ち帰り・詰替え品・紙レス)	・個人ゴミは持ち帰り(推奨)、日用品は詰替え品を使用、プリンタ単位の紙使用量管理で紙レス推進
分別の徹底	・デジタル測りを使用した正確な数値管理の実施 ・可燃ゴミだけでなく、古紙、雑誌、段ボール、カンを種類別で計量
③水使用量の削減	
□水道使用量の削減	
節約の実施	・節水ラベルを水回りに掲示し、節水を呼び掛け
水道管漏水の2回/年の定期点検	・2月、8月に水道管の漏水点検を実施
④環境配慮設計の促進	
□環境教育の実施	
新入社員への環境教育	・新入社員入社時に環境教育を実施(4月)
□環境配慮設計の実施	
環境配慮設計社内規定に基づいた製品設計	・社内HPIに社内規定を掲載、社内報を用いた周知・奨励を実施(4月)
⑤社会貢献	
□清掃活動	
会社周辺の清掃実施	・1回/週、会社周辺のゴミ拾いを実施
□エコキャップ活動	
ペットボトルキャップ回収の実施	・ペットボトルキャップの分別回収を実施

作成日：2025年1月31日

作成者：岡 祐司

5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

(2) 実施体制

□ 体制図



□ 役割・責任・権限表

役割	責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の制定 環境管理責任者の任命など実施体制の構築 資源（人員・設備・費用等）の準備 代表者による全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築・運用・維持し、その状況を代表者に報告 外部からの苦情等の受付 環境経営レポートの作成
担当者	<ul style="list-style-type: none"> データ集計
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境関連文書の作成管理・保存 対外諸事務
I/O推進隊	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標の設定・評価・見直し 環境経営計画の企画・推進 活動状況の把握・記録・評価 環境関連文書の作成 広報・啓蒙・教育・情報収集
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 部門の環境経営目標及び環境経営計画の運用管理
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性の理解 自主的・積極的な環境経営計画への参加 決められたことの遵守

作成日：2024年2月9日

見直し日：-

作成者：岡 義夫

6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(1)環境経営目標の実績 実施期間の実績を基準年度実績ベースで増減率計算し、目標値に対しての判定を行う。

目標項目	担当部門	単位	基準 2021年	2024年度 目標	2024年度 実績	判定	
①二酸化炭素排出量の削減	全部署	kg-CO2	41,035	△3% 39,804	△1% 40,520	未達	
	電力使用量の削減 ※1	全部署	kWh	70,984	△3% 68,854	△6% 66,862	達成
	ガソリン使用量の削減	全部署	L	※4 (2023年) 6,045	△1% 5,985	△16% 5,061	達成
②廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	全部署	※3 kg/人 (kg)	38.8 (1,491)	△3%/人 37.6 (1,446)	+64%/人 63.5 (1,884)	未達
		水道使用量の削減	全部署	※3 m ³ /人 (m ³)	6.53 (251)	△3%/人 6.34 (243)	+24%/人 8.10 (240)
④環境配慮設計の促進	環境教育の実施	総務部	回/年	1	1	1	達成
	環境配慮設計の実施	エコ推進隊	回/年	1	1	1	達成
⑤社会貢献	清掃活動	全部署	回/週	1	1	1	達成
	エコキャップ活動	全部署	回/月	1	1	1	達成
活動対象人数 ※2		年間平均人数 [年間総人数]	38.4 [461]	33.0 [396]	29.0 [356]		

※1 電力の二酸化炭素調整後排出係数は0.426kg-CO2/kWh(中部電力 2019年度)とする。

※2 2023年目標欄の人数は目標設定時(2023年1月時点)の人数を、それ以外は年間平均実績人数を記載した。

※3 廃棄物排出量と節水は活動対象人数の増減と明確に連動するため、年間総量ではなく原単位 = 1人当たりの量での評価とした。算出は各項目欄()内の年間総量を活動対象人数欄[]内の年間総人数で除して1ヶ月1人分の数値を算出し、それを12倍して1年間の1人当たりの数値とした。

※4 ガソリン使用量に関しては22年度途中にディーゼル車の追加があったため、軽油を含めた新たな基準として2023年度の実績値を使用し、△1%を目標値とした。

作成日：2024年2月9日

判定日：2025年1月31日

作成者：岡 祐司

6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

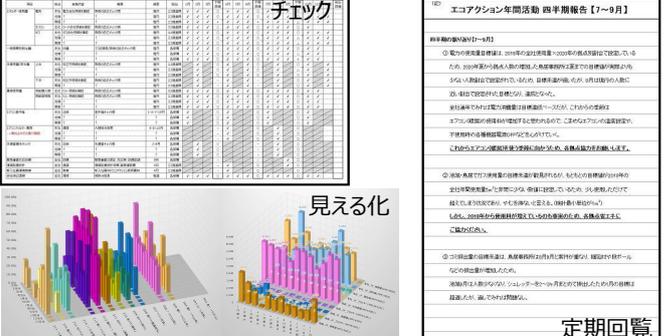
(2)環境経営計画の取組結果とその評価

◎：良くできた、○：まあまあできた、△：あまりできなかった、×：できなかった

環境経営計画	結果	評価
①二酸化炭素排出量の削減		
□電力使用量の削減		
冷暖房管理の徹底(室温：夏28度、冬20度)	△	・冷暖房のリモコン定位置化、デジタル温度計の設置による室温管理実施、サーキュレーターを導入し冷暖房を効率化を図った
不使用のOA機器電源OFF、節電モードの徹底	○	・不使用時や昼休憩時の電気OFFを徹底できた
就業時間外、未使用部屋の消灯・空調停止	○	・未使用部屋のこまめな電気OFFを実施、最終帰宅者点検により切り忘れ防止に務めたが切り忘れがたまにあった
空調機フィルターの3回/年の清掃	◎	・フィルター、室外機の点検は計画通り実施した
空調室外機の4回/年の簡易点検	◎	・月毎使用量をグラフ化、回覧、節約を呼びかけた
□LPG使用量の削減(都市ガス含)		
節約の実施	○	・ガス回りにラベルを掲示して節約した ・月毎使用量をグラフ化、回覧、節約を呼びかけた
□ガソリン使用量の削減		
エコドライブの実施	△	・車内にラベルを掲示してエコドライブを実施した ・月毎使用量をグラフ化、回覧、節約を呼びかけた
ハイブリッド車の活用	△	・事業活動の活性化により社用車の使用頻度が増加した ・基準年に軽油使用が無かった為、軽油の目標値を設定した
②廃棄物排出量の削減		
□一般廃棄物の削減		
削減取組み(個人ゴミ持ち帰り・詰替え品・紙レス)	×	・詰替え品の使用、コピー用紙記録、ゴミ記録表を使って分別を徹底等の活動を行ったが、事業活動の活性化による排出量増加、不要紙の一括廃棄により全体の排出量が増加した
分別の徹底	◎	・月毎使用量をグラフ化、回覧、節約を呼びかけた
③水使用量の削減		
□水道使用量の削減		
節約の実施	×	・水回りにラベルを掲示して節約した ・月毎使用量をグラフ化、回覧、節約を呼びかけた
水道管漏水の2回/年の定期点検	◎	・一人当たりの使用量が異常なのか確認するため、1週間の間毎日メーター値を確認する調査を実施した
④環境配慮設計の促進		
□環境教育の実施		
新入社員への環境教育	○	・新入社員への環境教育は計画通り実施した
□環境配慮設計の実施		
環境配慮設計社内規定に基づいた製品設計	○	・社内HP、社内報を用いて周知・奨励した
⑤社会貢献		
□清掃活動		
会社周辺の清掃実施	◎	・周辺歩道、駐車場のゴミ拾いを毎週実施した
□エコキャップ活動		
ペットボトルキャップ回収の実施	◎	・分別回収を実施した

6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(3)取組事例

<p>電力使用量の削減</p>  <p>【室温管理】</p>	 <p>【サーキュレーター設置】</p>	 <p>【不使用時の消灯】</p>	 <p>【照明の間引き&LED化】</p>	 <p>【最終帰宅者点検日誌】</p>
<p>ガソリン使用量の削減</p>  <p>【ハイブリッド車の使用】</p>	<p>一般廃棄物の削減</p>  <p>【デジタルメーターでの計量】</p>	 <p>【分別の徹底】</p>		
<p>水使用量の削減</p>  <p>【節水ラベルの掲示】</p>	 <p>【水道点検(漏水チェック)】</p>	<p>ガス使用量の削減</p>  <p>【ガス節約ラベルの掲示】</p>		
<p>その他活動事例</p>  <p>【会社周辺の清掃活動(週1回)】</p>	 <p>【ペットボトルキャップ回収活動】</p>	 <p>【活動のチェック・見える化・定期回覧】</p>		

6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(4)次年度の環境経営目標及び環境経営計画

項目	単位	基準 2024年	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値	実施計画	担当 部門
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	※1 42,726	△1% 42,299	△2% 41,872	△3% 41,445		
電力使用量の削減	kWh	66,862	△1% 66,193	△2% 65,525	△3% 64,856	・冷暖房管理の徹底(室温：夏28度、冬20度) ・不使用のOA機器電源OFF、節電モードの徹底 ・就業時間外、未使用部屋の消灯・空調停止 ・空調機フィルターの3回/年の清掃 ・空調室外機の4回/年の簡易点検	全部署
ガソリン使用量の削減	L	3,990	△1% 3,950	△2% 3,910	△3% 3,871	・エコドライブの実施 ・ハイブリッド車の活用	全部署
軽油使用量の削減	L	1,070	△1% 1,060	△2% 1,049	△3% 1,038	・エコドライブの実施 ・ハイブリッド車の活用	全部署
②廃棄物排出量の削減							
一般廃棄物の削減	kg/人 (kg)	※3 63.5 (1,884)	△1%/人 62.9 (1,823)	△2%/人 62.2 (1,805)	△3%/人 61.6 (1,786)	・削減取組み(個人ゴミ持帰り・詰替え品・紙レス) ・分別の徹底	全部署
③水使用量の削減							
水道使用量の削減	m ³ /人 (m ³)	※3 8.10 (240)	△1%/人 8.02 (233)	△2%/人 7.94 (230)	△3%/人 7.86 (228)	・節約の実施 ・水道管漏水の2回/年の定期点検	全部署
④環境配慮設計の促進							
環境教育の実施	回/年	1	1	1	1	・新入社員への環境教育	総務部
環境配慮設計の実施	回/年	1	1	1	1	・環境配慮設計社内規定に基づいた製品設計	第2事業部 第3事業部 設計開発
⑤社会貢献							
清掃活動	回/週	1	1	1	1	・会社周辺の清掃実施	全部署
エコキャップ活動	回/月	1	1	1	1	・ペットボトルキャップ回収の実施	全部署
活動対象人数 ※2	年間平均人数 [年間総人数]	29.7 [356]	29.0 [348]	29.0 348.0	29.0 348.0		

※1 電力の二酸化炭素調整後排出係数は0.459kg-CO2/kWh(中部電力ミライズ2022年度)とする。

※2 基準欄の人数は基準年2024年の年間平均実績人数、目標欄の人数は2025年1月時点の人数を記載した。

※3 廃棄物排出量と節水は活動対象人数の増減と明確に連動するため、年間総量ではなく原単位＝1人当たりの量での評価とした。算出は各項目欄()内の年間総量を活動対象人数欄[]内の年間総人数で除して1ヶ月1人分の数値を算出し、それを12倍して1年間の1人当たりの数値とした。

作成日：2025年1月31日

作成者：岡 祐司

7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用となる環境関連法規等

適用法令等	適用内容	遵守事項	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正分別と保管場所の確保 知立市の廃棄物処理施策への協力	廃棄物分別手順と保管場所の掲示 知立市の廃棄物分別基準	遵守できた
フロン排出抑制法	特定製品の修理、廃棄時の適正回収、破壊措置義務 簡易点検の実施	フロン回収登録業者への委託 業務用エアコンの簡易点検の実施 (四半期ごと)	※1 遵守できた
愛知県民の生活環境保護条例	自動車の駐停車時のアイドリングストップおよび社員教育義務	従業員への教育指導	遵守できた
浄化槽法	保守点検・清掃、法定検査(池端のみ)	保守点検・清掃、法定検査の実施	遵守できた
家電リサイクル法	使用済み特定家電の引取業者への適正な引渡し	冷蔵庫、テレビ、エアコンのリサイクル券	※1
自動車リサイクル法	使用済み自動車の引取業者への適正な引渡し	社用車のリサイクル券	※1
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	PCB含有機器：鳥居事務所屋上の変圧器・コンデンサ	該当機器を指定業者にて適正処分 (低濃度PCB含有機器の処分期限： 2027年3月31日まで)	※1

※1 今年度は該当なし

(2) 違反・訴訟等

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認・評価の結果、

環境関連法規への違反はありません。

また、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟は、過去3年間ありません。

法令一覧見直し日：2024年2月9日

遵守確認日：2024年12月18日

作成者：岡 祐司

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 取組状況・評価結果

・事業活動は昨年とほぼ同等の活発さから、より効率的な対応が必要な1年だった。

- ①2021年を基準年に据えて2022年から3年間分の目標を設定した3年目の年となった。
- ②ガソリンは、昨年ディーゼル車を導入したことを受けて軽油使用量の目標値を追加した。
事業活動が活発になる一方で使用頻度が減った車もあり、目標を達成することができた。
- ③前年に続き鳥居事務所では業務量の増加に伴い可燃ごみ、段ボールの廃棄量が増加した。
本社事務所では効率的に作業ができるよう社内の部署の配置換えを行ったことに伴い、
不要紙の一括廃棄が年3回発生したことにより目標未達となった。
- ④水使用量は、毎月の使用量を確認する中で全社的に使用量が多く、使いすぎか漏水の可能性が出た。
これを受けて1週間にわたり水道メーターの値を記録して、日々異常な使用量が発生していないか
確認をする取り組みを実施した。結果異常は見られず、各事業活動の活発化による勤務時間増が
目標未達の主な原因だと思われる。

過去3年間はコロナの影響下であった2021年を基準年にしていたこともあり、コロナの影響から脱した2023年・
2024年ともに基準年に対する実績が大きくかけ離れる事態となっていた。

来年からは2024年を基準年に据えるため、この問題は起こらないと思われる。

・鳥居事務所の変圧器・コンデンサーの含有PCBについては引き続き対応中。

2027年3月31日の処理期限に向けて、対策を検討していく。

2. 変更の必要性

環境経営方針	不要	・	要
環境経営目標	不要	・	要
環境経営計画	不要	・	要
実施体制	不要	・	要

3. 次年度への指示事項

2025年度からは新たな3か年計画を作成することとなり、その基準年が2024年度となる。

コロナの影響を受けない状態での基準となる年度になるため、1年を通して環境活動を安定して取り組んでいくこと。

鳥居事務所の変圧器・コンデンサーの含有PCBについては処理期限が迫ってきている。

早急に処理までの大日程を計画して対処すること。

実施日：2025年1月31日

岡設計株式会社

代表取締役 岡 義夫